

鳴瀬川の排水機場での油漏れ事故について(第34報・終報)

平成25年10月21日に鳴瀬川の船越(ふなこし)排水機場においてA重油が漏れる事故が発生したことにより、北上川下流河川事務所では災害対策支部(水質)「警戒体制」を設置(その後「注意体制」に切替)し、事故対応を図ってきました。

事故発生以降、河川への油流出はありませんでしたが、排水機場周辺の土中に油が存在することが確認されたため、回収作業を行うとともに拡散防止対策(止水矢板、土中壁)の施工により土中封じ込めを行ってきました。

この度、この施工が完了し、河川への油流出のおそれが回避されたことより、12月27日16時に災害対策支部体制を解除しました。

今後は通常体制で河川巡視、油回収等を実施します。

1. 事故内容

- ・発生場所：宮城県大崎市鹿島台町船越字阿久戸地内(鳴瀬川右岸17.7k付近)
- ・流出物：A重油(排水ポンプを作動させるための発電機の燃料)
- ・流出量：最大10kL(ドラム缶50本分)
- ・流出経路：補助燃料タンクから発電機までの燃料配管に開いた穴(楕円形3mm×4mm)から漏洩

2. 現在の対応について

- ・10月24日から、ストレーナー管内に貯まった流出油の吸い取り作業を実施中
- ・11月8日に雨水による流出・浸透対策を完了
- ・12月18日に拡散防止対策(止水矢板)を完了
- ・12月27日に拡散防止対策(土中壁)を完了

12月19日～27日 河川巡視結果、排水機場川裏、川表とも異常は確認されていません。

3. 今後の対応について

河川巡視(船越排水機場周辺 2回/日実施)及び流出した燃料の回収について、引き続き実施
原因究明と再発防止対策の実施

管内の情報は次のURLからご覧になれます。

北上川下流河川事務所Webサイト URL【<http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/>】

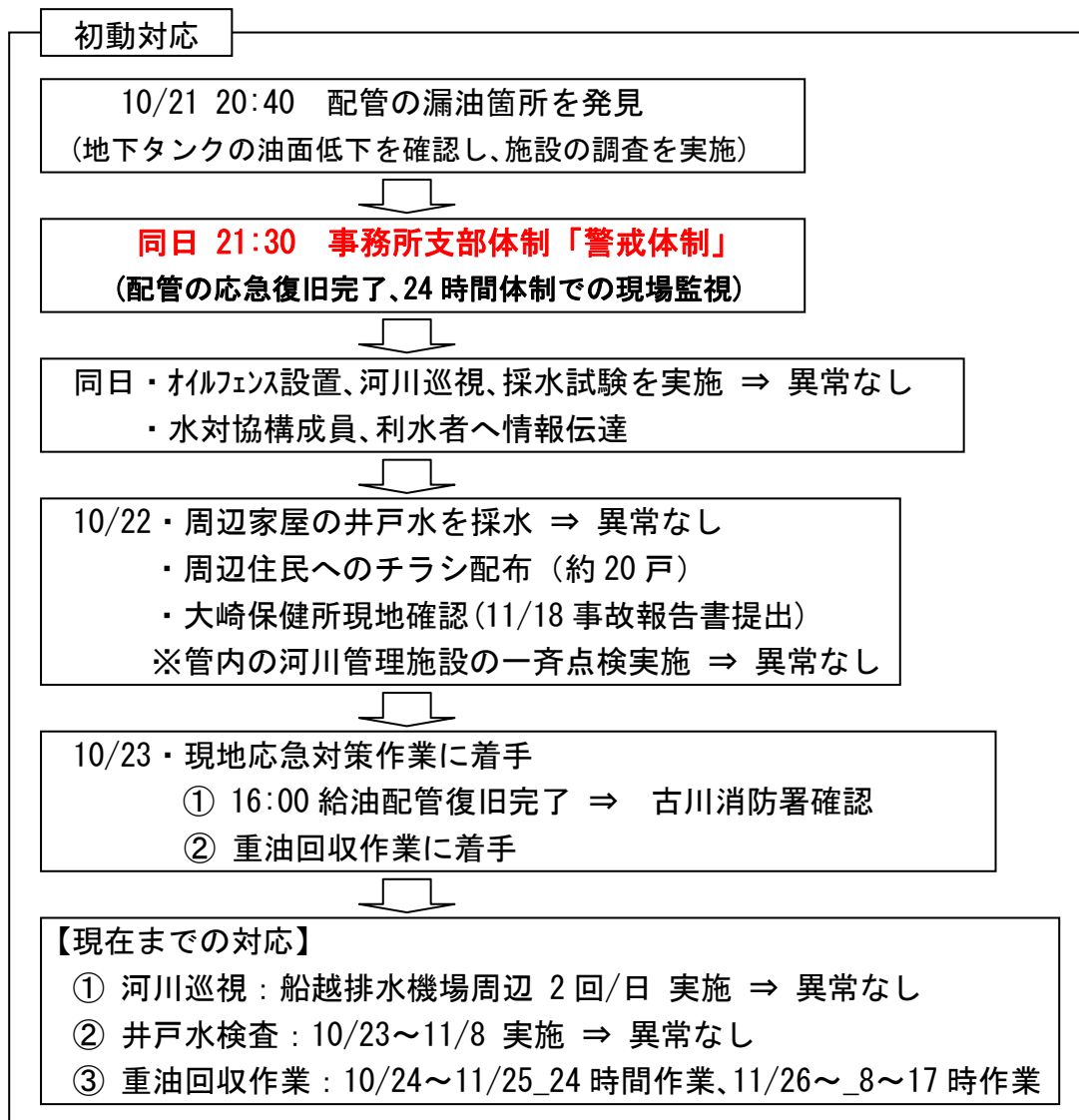
<< 発表記者會：石巻記者クラブ、古川記者クラブ >>

問い合わせ先

江合川及び鳴瀬川水系水質汚濁対策連絡協議会
国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所
電話：0225-95-0194(代表)
管理課長 斎藤 巧(内線331)

船越排水機場漏油事故と対応について(記者発表 添付資料)

1. 漏油発生から現在までの経緯



2. 拡散防止対策

- ① オイルフェンス設置：事故発生より、随時増設
- ② 雨水浸透防止対策：漏油箇所付近のモルタル吹付、側溝増設、護岸目地閉塞 等
⇒ 11月8日完了
- ③ 止水矢板(水路側)：鋼矢板打込みによる止水対策
⇒ 12月18日施工完了 ⇒ 「**注意体制**」に移行
- ④ 土中壁(堤防側)：12月27日 改良土による止水対策完了 ⇒ 「**体制解除**」

【初動対応】

○ 漏油箇所の配管復旧



○ 重油回収作業



【拡散防止対策】



○ 雨水浸透防止対策



(モルタル吹付実施状況)



(護岸目地閉塞状況)

○ 止水矢板(水路側)



(鋼矢板打込み完了：下流側)



(鋼矢板打込み完了：上流側)

○ 土中壁(堤防側)



(土中壁施工状況)



(土中壁完成)